

呼吸器内科

患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけています。
間質性肺炎、肺癌、難治性喘息はもちろん、長引く咳、呼吸困難など、
呼吸器疾患が疑われる場合もぜひご紹介ください。



診療科
ホームページ
QRコード

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

間質性肺炎を含むびまん性肺疾患では全国トップレベルの診療実績があります。その他、あらゆる呼吸器疾患に対応しております。

- 間質性肺炎(特異性間質性肺炎、過敏性肺炎など)**
- 肺癌・胸膜中皮腫**
- 気管支喘息、COPD(慢性閉鎖性肺疾患)**
- サルコイドーシス**

担当医師 / 在籍医師の専門を記載していますが、各医師とも呼吸器疾患全般に対応可能です
びまん性肺疾患：宮崎 泰成、立石 知也、古澤 春彦、岡本 師、白井 剛
肺癌・胸膜中皮腫：本多 隆行、榊原 里江
喘息・COPD：柴田 翔、高澤 聖子、小松崎 恵子、大谷 義夫
サルコイドーシス：古澤 春彦



特色・診療内容

当科は、間質性肺炎を含むびまん性肺疾患の診療で、全国でもトップクラスの診療実績があります。科長の宮崎 泰成は、全国でも数少ないびまん性肺疾患診療のエキスパートであり、日本呼吸器学会や厚生労働省の研究班にもコアメンバーとして参画しています。

間質性肺炎は薬物では根治が望めない疾患ですが、当科ではアレルギー性の間質性肺炎(過敏性肺炎)の可能性を徹底して調べることで、環境改善による進行抑制と、治験にも積極的に協力し、患者さんが希望をもって療養できるように努めています。

また、間質性肺炎に合併した肺癌は、間質性肺炎増悪のリスクから、一般の病院では治療困難と判断されることが多いですが、当科では間質性肺炎の診療実績を生かして、患者さんの為に可能な限り治療を行っています。

その他、肺癌、難治性喘息、COPD、呼吸器感染症など、診療経験豊富な医師が在籍しており、あらゆる呼吸器疾患に対応しています。アレルギーセンターでは、難治性喘息に対し積極的に生物学的製剤を導入しており、最適な吸入薬の選択や吸入指導なども患者さん個別に実施しており、丁寧な診療を心がけています。



専門外来

- 難治性喘息(アレルギー疾患先端治療センター)**
重症気管支喘息に対して生物学的製剤を積極的に導入しています。
- その他専門外来(詳細は病院ホームページをご参照ください)**
禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、間質性肺炎外来。



お願い

難治性喘息(アレルギー疾患先端治療センター宛)、睡眠時無呼吸(快眠センター宛)、間質性肺炎(びまん性肺疾患外来 宛)をご希望の場合は、診療情報提供書の宛先に呼吸器内科に加えて各専門外来名をご記載ください。その他の場合は呼吸器内科宛でご紹介ください。間質性肺炎の患者さんは専門外来以外でも受け入れておりますので呼吸器内科宛でも結構です。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~16:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.7をご覧ください。